

日奈久っ子



日奈久小 HP



八代市立日奈久小学校
学校便り 第12号
令和6年1月9日発行
文責 村山

笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい

あけましておめでとうございます

令和6年(2024年)が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様、新年あけまして、おめでとうございます。

今年は、日奈久小学校ができて150周年となります。記念となる年であり、保護者の皆様、地域の皆様と学校が協力して、すばらしい年となるよう、職員一同頑張っていく所存です。本年度も、よろしくお願いいたします。



さて、3学期は52日間と大変短い学期です。その中で、この1年で学んだことを振り返り、まとめをする学期となります。今の学年で学んだことをしっかり自分のものにして、次の学年へ進んでほしいと思います。特に6年生は、小学校最後の学期です。これまでの小学校生活の集大成を見せる学期です。多くのことを後輩に伝えて、日奈久小の発展に努めてほしいと思います。とても期待しています。

また、新年を迎え、能登半島で大地震が起き被害が広がっています。約8年前に私たちは熊本地震を経験しており、その時の状況を思い出し、被害に遭われた方のご心中を察すると、胸が痛くなります。

時が経ち、現在の小学生は熊本地震のことをあまり知らないか生まれていない世代になっています。決して他人事ではなく、自分事として考えていく学習を学校でも家庭でも行う必要があるなと思っています。

私は、そのことを進める上で、「真剣さ」「努力」「協力」といったことが大切だと思います。

本校も11月に地震・津波の避難訓練を行いました。2日にあったJALの事故でも、JALの添乗員は日頃から避難訓練を行っていたと報道がありました。そのためだと思いますが、迅速な対応ができ、JALの乗客等で亡くなられた方はいませんでした。日々の訓練の真剣な取組が実を結んだと思います。

その際に、乗客の方もお互いに助け合いながら命を守っていかれたと思います。私たちも日頃の訓練や学びを大切に、子供たちの命を守っていきたくと思

います。

「きつい」「何のためになっど?」「したくない」などといった言葉や行動が子供からあります。

子供たちには学校で行う一つの取組の意義を伝え、真剣な学びを深めてほしいと思います。

日頃の努力や協力などが、いざというときに自分を支えることになると感じた新年でした。

最後に、今年も学校教育の充実のために、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



正月行事：どんどやがありました

1月6日(土)は、日奈久小中運動場で、どんどやが行われました。5日(金)に地域の方と日奈久中生徒がやぐらを組んで準備をされました。

「どんどや」は、竹が燃える音で病氣や災難を追い払うと言い伝えがあります。

日奈久の子供たちや日奈久の皆様が、1年間「無病息災」となりますように。



SNSについて家庭でも確認を

年末に八代で、SNSがきっかけで、子供が被害にあっています。スマホやタブレットは、ほとんどの人が使用しており、SNSは、大変便利で生活の中でなくてはならないものです。その中で、SNSを使う側が危険性を知り、モラルを守って使用することが重要です。学校でも学習を行っています。

ご家庭でも、子供さんのスマホ・SNSについて、時々話し合いをお願いします。SNSで知り合った人にすぐには会わないなど、自分の命を守ること、被害に遭わないようにすることをしっかり教える必要があります。また、お子様のスマホのフィルタリング設定の確認もお願いします。被害にあってからでは遅いです。よろしくお願いいたします。